

トルクメニスタン向け大型ガス化学コンプレックス受注

平成 26 年 5 月 12 日

東洋エンジニアリング株式会社

東洋エンジニアリング株式会社(TOYO、取締役社長 石橋 克基)は、韓国の現代エンジニアリング、現代建設及び LG インターナショナルとの協業で、トルクメニスタン国営ガス会社向けの大型ガス化学コンプレックスを受注いたしました。完成は 2018 年を予定しています。本プロジェクトはトルクメニスタンにおいて TOYO 初の受注となります。

本設備はカスピ海沿岸で産出される天然ガスを原料に、エチレン、高密度ポリエチレン、ポリプロピレンを製造するもので、TOYOは、ガス分離設備、エチレン製造設備、ポリプロピレン製造設備に関する設計、調達及び試運転を担当します。このうちガス分離設備には、TOYOの技術で、エタン、LPGを効率よく回収できるCOREFLUX[®]、およびドイツBASF社のOASE[™]酸性ガス除去技術を適用します。またエチレン製造設備にはTOYOが豊富な実績をもつ米国ルーマス社の技術、ポリプロピレンには米国グレース社の技術が適用されます。

本設備で生産された化学製品は主にアジア市場、欧州・トルコ市場向けに輸出・販売される予定です。トルクメニスタンは、豊富な埋蔵量を誇る天然ガスの輸出等により高い経済成長率を維持しており、今後も石油・ガス分野における新たなプラント投資が見込まれています。TOYO は本プロジェクトの遂行を通じ、同国の経済発展に貢献するとともに、ロシア・CIS 地域での案件獲得を目指します。

受注概要

- 客先: トルクメンガス(トルクメニスタン国営ガス会社)
- 受注者: 東洋エンジニアリングと、韓国の現代エンジニアリング/現代建設/LG インターナショナルの 4 社共同受注
- 建設地: トルクメニスタン西部、バルカン州、トルクメンバシ地方
- 対象設備: ガス分離設備(年間 50 億m³)、エチレン製造設備(年産 40 万トン)、ポリプロピレン製造設備(年産 8 万トン)
- 役務内容: 対象設備に関する設計、機器資材の調達、試運転の一括請負と、ガス分離設備に関するライセンス提供(COREFLUX[®])
- 完成時期: 2018 年の予定
- 受注金額: 8 億ドル超(全体投資額:約 30 億ドル)

<お問い合わせ先>

広報・IR 部 [担当:佐藤、深沢] TEL:047-454-1113